

# 令和4年度事業報告

中野区立療育センターアポロ園

(はじめに)

療育センターアポロ園の事業運営目的は、「障害やさまざまな発達上の課題のある子ども達が、自分のもっている力を十分に発揮し、家庭や地域の中でともに生活ができるようになるための支援をする」こととしています。

平成26年度より社会福祉法人全国重症心身障害児(者)を守る会が指定管理者として運営を始めて、令和4年度は9年となりました。各事業評価などを分析し改善を図るとともに児童発達支援事業アンケートで寄せられたご意見やご提案などから、着実な事業の実施に向けて取り組んでまいりました。また、職員の確保・定着・育成を図り円滑な事業運営に努め、利用者サービスの一層の向上を図ってまいりました。

## I 運営方針

- (1)各事業のサービス提供にあたっては、児童が持っている力を十分引き出し、日常生活の中で運動面及び精神面の発達を促し、社会の中で生きていく力を身につけるための支援を行います。
- (2)児童の家族が当該児童の状態を正しく知り、子育ての力を身につけて当該児童にとって今何が必要かを考え実行するための支援を行います。
- (3)サービスの提供にあたってはプライバシーの保護や人権擁護の徹底を図り、児童及び保護者に対し、理解しやすいよう説明を行います。
- (4)必要により保育及び教育に関する情報並びに、福祉サービスについて情報の提供を行います。

## II 職員配置

常勤職員：園長1名・事務職1名・児童発達支援管理責任者1名・保育士5名・  
児童指導員3名・心理職5名・看護師1名・理学療法士1名・  
作業療法士2名 計20名

非常勤職員：心理職7名・保育士4名・児童指導員3名・言語聴覚士3名・  
看護師1名・事務職2名・相談支援専門員1名 計21名

嘱託医師：小児神経医師1名・小児科医師2名・児童精神科医師2名・  
歯科医師1名・歯科衛生士1名・水療育講師1名 計8名

## III 事業内容

### 1 児童発達支援事業

中野区内に在住し、通所受給者証の交付を受けた児童(医療的ケアを必要とする児童も含む)に対して3クラスに分けて支援を行いました。

1 日定員は40名で運営してまいりました。

- ・開所日数:286日
- ・契約者数:360人
- ・延べ利用人数 8,534人
- ・利用率:75%(令和3年度81%)

#### 1)通園

ア 3歳児以下クラス(ラッコ)

年間利用率:57%

・1日定員14名

☆2歳児以下

・週2日(親子通園)

・週1回(親子通園)

☆3歳児

・週1回(親子通園)

イ 3歳児以上クラス(コアラ)

・1日定員16名

年間利用率:74%

・週5日(3・4歳児:週3日単独通園・2日親子通園、5歳児:週5日単独通園)

#### 2)個別

ア 個別指導クラス(パンダ)

・年間利用率 90%

① 平日

・1日定員 10名

年間利用率:97%

② 土曜日

・1日定員 40名

年間利用率:81%

#### 3)保護者教室の実施

【通園クラス】

① 令和4年9月12日 コアラクラス保護者

テーマ:「からだの発達について～遊びの視点から～」

講師:松尾 道子(作業療法士)

参加人数:8名

② 令和4年9月16日 ラッコクラス保護者

テーマ:体をうまく使うことが苦手な 子どもの理解と援助 –感覚と運動の視点から

講師:松尾 道子(作業療法士)

参加人数:13名

③ 令和4年11月28日ラッコクラス保護者

テーマ:「コミュニケーション・脳育て」

講師:二階堂 和子(言語聴覚士)

参加人数:13名

④ 日時:令和4年12月27日コアクラス保護者

テーマ:「コミュニケーション 脳育て」

講師:二階堂 和子(言語聴覚士)

参加人数:15名

【個別指導クラス】

日時:令和4年7月30日 個別指導クラス保護者

テーマ:うまくできないってどういうこと?

講師:松本政悦氏(作業療法士)

参加人数:21名

4)リモート支援

令和4年度において、リモート支援向け環境整備がされたため、オンラインによる保護者支援を行いました。(ZOOMによる開催)

令和4年7月30日 保護者教室

令和4年9月12日 保護者教室

令和4年9月16日 保護者教室

令和4年11月28日 保護者教室

令和4年12月27日 保護者教室

2 療育相談事業

中野区に在住する未就学児を対象としており、発達上の課題や障害があると思われる児童や保護者の相談を受けアセスメントを行い対応方法の提案をしました。対象児のニーズや支援の必要性に応じて適切な期間で対応をしました。

・実施日 :第1・3月、第2火、第2・4木、第2・4金、その他必要に応じて臨時に開催

・療育相談実施日数:105日(令和3年度97日)

・療育相談実施件数:208件(令和3年度248件)

3 保育所等訪問支援事業

中野区内に在住し、通所受給者証の交付を受けた発達上の課題や障害があると思われる児童が在籍する保育園・幼稚園などに、訪問支援員が定期的に訪問し、対象児に対して直接支援・間接支援を行いました。

- ・登録人数:323名(令和3年度325件)
- ・延べ利用人数:729人(令和3年度782人)
- ・延べ訪問園数:376園(令和3年度380園)

#### 4 障害児相談支援事業 アポロ

児童福祉法に基づく「相談支援事業所」です。

- ・開設日 :平日月曜日から金曜日
- ・開設時間 :9時から17時
- ・障害児相談支援援助:231件(令和3年度297件)
- ・継続障害児相談支援援助:149件(令和3年度151件)

#### 5 一時保護事業

中野区内に在住する小学生以下の発達障害のある児童の保護者が、対象児を介護することが困難になった時に、児童を一時的に保護し、当事者の福祉の増進を図りました。

開設日:月曜日から土曜日

開設時間:9時00分から18時00分(但し土曜日は16時00分迄)

- ・延べ利用人数:263人(令和3年度229人)
- ・延べ利用日数 :176日(令和3年度167日)
- ・医療的ケア受け入れ件数:1件(令和3年度0件)

#### 6 おもちゃライブラリー事業

おもちゃ及び関係図書を、発達促進と福祉の増進に寄与することを目的に、「おもちゃライブラリー」を置き、地域開放しました。(新型コロナウイルス感染防止のため、利用人数、利用時間、入室人数の制限を行いました。)

- ・利用人数:226人(令和3年度195人)
- ・貸出点数:326点(令和3年度277点)

#### 7 児童発達支援事業利用児のきょうだい対応保育人事業

通園児と保護者が療育に参加できる環境をつくり、療育効果を高めることを目的として、通園児のきょうだいの預け先が見つからない場合、保育人が有料で対応しました。

- ・利用実人数:66人(令和3年度41人)
- ・延べ利用人数:171人(令和3年度139人)

#### 8 中野区立療育センターアポロ園地域資源啓発事業

発達障害児に対する正しい理解と適切な対応を促進する目的のもと、地域の私立幼稚園や保育園の保育者等を対象に学習会を開催しました。

【第1回】

- ① 日時:令和4年10月14日(金)19:00~21:00
- ② 講師:田口直子先生(帝京科学大学)
- ③ 場所:オンライン
- ④ テーマ:「保育の中で取り入れられる発達に合わせた遊び」
- ⑤ 参加者:45名

【第2回】

- ① 日時:令和5年1月20日(金)18:30~20:30
- ② 講師:小沢 浩先生(島田療育センターはちおうじ 所長・医学博士)
- ③ 場所:中野区産業振興センター 大会議室
- ④ テーマ:「療育ってなあに?一笑顔で支える子どもの育ち」
- ⑤参加者:60名

9 「私立幼稚園特別支援教育補助金申請」に必要な判定書の作成

療育相談を受けたお子さんについて私立幼稚園からのご依頼があった場合は判定書の作成をしました。

・作成件数:48件(令和3年度55件)

以上